神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 大名草A(西) |
|---|---|

ファシリテーター名：足立美樹

| | 地図に貼り付けた付箋の内容(情報補足して記入) | | |
|---|---|---|---|
| | いまor 10年後 | カテゴリ (数字記入) | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ① | 世帯の人数の少ない家が多い |
| | いま | ③ | 空き家を移住者がコワーキングスペースで使用している家がある |
| | いま | ④ | 空き家でも管理に帰って来る人がある家が結構ある |
| | 10年後 | ④ | 学生で期待を込めて10年後の人数に入れておく家あり |
| 農地地図情報 | いま | ③ | 里山を整備している |
| | いま | ③ | 愛菜館:自治会で野菜や加工品などを販売している |
| | いま | ④ | 耕作地というより林のところあり |
| | 10年後 | ② | 10年後は農業を続けている自信がない |
| | 10年後 | ④ | 広い耕作地帯は管理もしやすく続けられているのでは |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 農地の維持管理が気になる | ・農地が減る<br>・思ったよりも10年後も農地が維持されている。休耕田が少ない<br>・希望的観測も含まれていて、実際にはもっと農地は減ると思う |
| | 農地の共同管理 | ・農地は共同で管理するほうがよい |
| | 人口減少と少子高齢化の進展 | ・人口が減少していく<br>・75歳以上の住民がもっと増えると思っていた(が、そうでもないと感じた)<br>・若い人や子どもが定住しないと、根本的な問題はなくならない<br>・子どもが帰ってこれる田舎になれるように、発展的な何かを考えられたらいいのだが・・・(難しい) |
| | 神楽全体の自治会構成の在り方 | ・他の自治会をみて、自治会ごとに構成戸数に大きな差があり、さらに差が広がっている。 |
| 10年後の私の暮ら | **地域の役が負担になる** | **・毎年何かの役員にならないといけないのではないかと心配**<br>**・選挙で強制的に役員にならされる** |
| | 防犯面の不安 | ・オレオレ詐欺の被害が増えるかもしれない |

| | | |
|---|---|---|
| 私の暮らしで気になること | **移動ができなくことによる不安・不便** | ・免許返納したら大名草にこもる日々になるのか（そうなると嫌）<br>**・お店にいけなくなる、お店に行って買い物をしたい**<br>**・ガソリンスタンドがなくなってしまうようなことになると困る。ガソリンも灯油も必要** |
| | 生活の楽しみが減る | ・生活の楽しみがなくなる。元気がなくなる。 |
| 10年後の自治会で気になること | 地域の伝統文化・行事を残せるか | ・祭りは開催できるか？ |
| | **地域の作業・仕事を減らすことが必要** | **・地域の仕事は減らせないのか？**<br>・日役に出られる人が減ることで、日役の負担が大きくなっていく。何か案を考える必要がある。 |
| | **地域の役の見直し・形を変える必要** | **・自治会や各団体の役員をする人がいなくなる**<br>・地域の組織の形が保てない |
| | 消防団の負担 | ・消防団員がやめられない |
| | 農地の維持・継続が困難 | ・農業をする人が少なくなる<br>・農地の維持管理ができない<br>・休耕田と太陽光パネルでいっぱいになるのではないか |
| | 山林の管理ができない | ・放置山林が手に負えなくなる |
| | 獣害が増える | ・鹿などの獣が多く出てくる |
| | 災害時の心配 | ・災害時の対応ができなくなる<br>・河川の災害が心配 |
| | **移動できない不便** | **・車を運転できない高齢者が増える** |
| | **買い物ができる環境が必要** | **・無人スーパーができないか？**<br>**・フレッシュバザールが無くならないようにする必要がある** |
| | 子どもたちの声がなくなる | ・子どもたちの遊ぶ声が聞こえなくなる |
| | 空き家の造花 | ・空き家が増える |
| | 住民のつながりが希薄になる | ・自治会内のつきあいが少なくなる<br>・葬式が家族葬になり、自治会の人が集まる機会が減っている |
| | 気にしていたらきりがない | ・将来の自治会のことは、気にしないようにしている。気になることばかりできりがない |
| 新たに気づいたことの要点 | 世帯人口が少なく、人口減少がさらに進むことによる危機感 | ・1世帯の人数が少ない<br>・人口減少が進む（実際はもっと減るのかも）<br>・危機感 |
| これからの必要なことの要点 | 無理をせず、今いる人達で行動を起こす・自治会で稼ぐ | ・無理に維持しない（縮小を受け入れる）<br>・今の人たちが行動を起こすことが必要<br>・自治会で稼ぐ（愛菜館の運営方法） |

**神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ**

| 自治会名 | 大名草B（東） | ファシリテーター名：荒木将広 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ① | 高齢者世帯では既にどちらも施設に入っているところがある |
| | いま | ② | 電車やバスなどの公共交通手段に乏しいのが厳しい。車が運転できるうちはいいが、子どもや高齢者が生活するには不便も多いだろう |
| | いま | ① | 雪が多いため生活に苦労する。佐治と神楽では雪の量が全然違う |
| | いま | ① | 結婚して柏原や氷上に出る人が多い。地元への愛着や実家の管理など思いはあっても、生活のこととの兼ね合いで考えると現実的な選択なのではないか。二拠点生活をしている人も多い。（この人はどのくらいこっちに住んでるかな…という会話が多くあった。） |
| | 10年後 | ① | 大名草は広すぎて公民館まで集まるのも大変。この広さでは安否確認なども難しいのではないか。（今でも近所のことは分かるが遠くのことは分からない。） |
| | 10年後 | ① | 今のままの役の数で自治会運営を続けていけるのか。日役も出役者も足りなくなるのではないか。消防団員もなり手がいなく、形骸化しつつあるように感じる。 |
| | 10年後 | ① | 空き家が増えそうなことが改めて分かった。今でも既に管理されていない空き家があり、危険が増している。空き家の草刈りや管理をどこまで自治会でやるのかという問題もある。 |
| | 10年後 | ① | 山の管理はできるのだろうか。特に境界線が分かっている人はもういないのではないか。 |
| | 10年後 | ① | 引き続き、丹波市内の便利の良いところに出ていく人は増えると思う。特に子育て世代。子育てのことを考えると致し方ないとも思う。 |
| 農地地図情報 | いま | ③ | 昔はここで保育園の芋ほりをしていたなあ、と懐かしみ。生活している近所でそういう場所があるのはよいことだと思うけど、今は子どももいないしそういう使い方もされない。 |
| | いま | ② | 耕作放置されススキが広がっているエリアがある。一部では綺麗だという声もあるが、そんなものあってもどうにもならない。 |
| | 10年後 | ④ | 大名草中心分付近の農地は10年後も残るのではないか。（ただし、今の耕作者が10年後も取り組んでいる、というだけの話ではあるが…。）大名草は個人の耕作者が多く、大規模営農しているところがない。誰かできる人がいるといいのだが…（何人か名前が挙げられるが、できそうな人はいなさそうだ） |
| | 10年後 | ① | ススキ畑を農地に戻すのは簡単ではない。10年後もススキ畑だろう。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを | 年齢構成の変化（後期高齢者が増える）自治会でも年齢構成が異なる | ・10年後の神楽では後期高齢者が急増、子どもはほとんどいなくなる。桧倉に関しても市営住宅を除けば他と変わらない。<br>・生産年齢人口が減少する。<br>・大稗の高齢化が特に目立つ。 |

| | | |
|---|---|---|
| 見て話し合ったこと | 農地の維持ができるか | ・全体的に耕作放棄地は思ったよりも増えない印象。願望も込みの結果なのではないか。<br>・農地については耕作者次第の部分もある。<br>・10年後も営農地は維持されるだろう。大名草では大きな営農組合はなく個人が多いので、どうなるか。 |
| 10年後の私の暮らしで気になること | 農地の管理ができるか | 田畑を任せる人がいなくなると困る。 |
| | 自治会の役は必要だが、担い手がいない | 役が回ってくる。それはいいとしても次に任せる人がいるのか心配。いつまでも続けないといけないのではないか。 |
| | 外へ出た子どもらが戻らない、農業を継げない | 子どもが地元に戻ってくるかどうか。ただ、戻ってきたとしても農業をやってくれとは言えない。 |
| | 相続の不安 | 相続をどうするか。 |
| | **心配はあまりしていない** | **私の暮らしで、ということで言えばあまり心配はしていない（現状通り）との意見が多数。** |
| 10年後の自治会で気になること | 大名草の広さゆえ、安否確認が困難に | 大名草は広すぎて公民館まで集まるのも大変。この広さでは安否確認なども難しいのではないか。（今でも近所のことは分かるが遠くのことは分からない。） |
| | 自治会の役や日役の数など担い手が不足、形骸化 | 今のままの役の数で自治会運営を続けていけるのか。日役も出役者も足りなくなるのではないか。消防団員もなり手がいなく、形骸化しつつあるように感じる。 |
| | 空き家のさらなる増加への対処方法 | 空き家が増えそうなことが改めて分かった。今でも既に管理されていない空き家があり、危険が増している。空き家の草刈りや管理をどこまで自治会でやるのかという問題もある。 |
| | 山林の管理はできなくなる（境界が不明） | 山の管理はできるのだろうか。特に境界線が分かっている人はもういないのではないか。 |
| | 若い世代は今後も外へ出ていく | 引き続き、丹波市内の便利の良いところに出ていく人は増えると思う。特に子育て世代。子育てのことを考えると致し方ないとも思う。 |
| 新たに気づいたことの要点 | 集落の維持・財産の管理を自治会で真剣に考えること | ・当たり前に集落が続いていくわけではない。維持、を真剣に考えていかなければ。<br>・時代や人口減少に見合った役の見直しが必要。<br>・個人に依らない財産管理を行う必要がある。 |
| これからの必要なことの要点 | 自治会の体制やり方を変える | ・体制はもちろん、自治会活動の方向性や内容に関してもスリム化が必要。<br>・これまでのやり方では体制が維持できない。女性の参画 |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 大稗 | ファシリテーター名：小林 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ①② | 子どもが少ない。お嫁に来てくれる人がいないからだろうか。<br>10月号広報たんば「戸籍のまど」に、青垣町で出生した子がいなかった。（9月届け出分） |
| | いま | ①② | （年、月、週に数回など）畑などをしに来る人や、2拠点生活をしている人（別荘持ちの人など）がいるが、その人たちとの村付合いはほとんどない。また、準会員についても顔が分からない状況である。10年後も大稗に関わりを持ってくれるかどうか不安である。 |
| | いま | ③ | 街から畑をしに来る人がいることから、農業には最適な土地である。 |
| | 10年後 | ①② | 関係人口が定住していない。 |
| | 10年後 | ①② | いま、村の最年少が5歳であることや、お嫁に来てくれる人がいない（独身男性が多い）ことから、子どもの数が増加することは考えにくい。また、大学生になった子たちが進学のために大稗を離れていくであろうことから、0～14歳は0となる。 |
| 農地地図情報 | いま | ② | 太陽光パネルの管理に困っている。 |
| | いま | ①② | 管理者は高齢者ばかりで10年後も管理できているのか、また引き継いで管理してくれる人がいるのか不安である。（結果、10年後の地図は「いま」と概ね変わっていないが） |
| | 10年後 | ① | 恐らく10年後は「いま」と変わらず管理できているが、さらに先10年後は本当に管理する人がいなくなっているのではないか。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 子どもが少ない | 10年後、どの自治会も0～14歳が少ないが、とりわけ大稗は0人である。高齢化と人口流出による問題ではないか。 |
| | すでに空き家が目立つ | 大稗だけでなく、全体的に空き家の数が既に多いように見える。<br>高齢化と人口流出による問題ではないか。 |
| | 日役の負担がさらに高まっている | 担い手不足により、役員が複数の役職を担っていることから、日役の負担がさらに高まっている。 |
| 10年後の私の暮らしで気になること | **生きているかどうか…（健康管理をしっかり）** | （10年後、生きているとして、）自治会のために、足腰が元気で運転もできる間に、できることをやって**貢献したい**。また、家族や自分のためにできることをやりたい。そのために、**まずは自分の健康管理をしっかり行いたい。** |
| 10年後の自治会で | **若者や女性の自治会活動への参加を広げる** | 高齢者だけでなく、女性や若者など年代関係なく自治会活動に参加できる方法をみんなで考えたい。 |
| | **日役は有償ボランティアで実施する** | 河川の日役が大きな負担となっており、実施できなくなるであろうから、元気な間は、有償ボランティアとして自治会のために頑張りたい。そのために、**まずは自分の健康管理をしっかり行いたい**。 |

| | | |
|---|---|---|
| 気になること | 子どもが少ない、子ども会存続のための協議が必要 | 子ども会が存続しているだろうか。存続させていくために、祭りなどの事業をさらにスリム化していくための協議が必要になってくるだろうが、**縮小できない事業をどう取り扱っていくかさらなる協議が必要である。** |
| | 個人共有名義になっている自治会財産管理・扱い | 自治会の財産は個人の共有名義となっている。 |
| 新たに気づいたことの要点 | 子どもが少ないこと | 10年後、どの自治会も0～14歳が少ないが、とりわけ大稗は0人であることから、大稗は子どもがいなくなるのではないか。 |
| これからの必要なことの要点 | 自治会事業の見直し | 担い手不足により役員への負担が増えていることから、自治会の運営をスリム化していく必要があり、これまでも見直しを進めてきたが、縮小できない事業について、みんなでさらに話合いを進めていく必要がある。 |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 小稗 | ファシリテーター名：立石実希 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ④ | 現在空き家だが70歳女性が毎月大阪から帰ってきている。 |
| | いま | ④ | 別荘。70代夫婦が兵庫県内の他市から毎月帰ってきている。 |
| | いま | ① | 川沿いの道（主要道路）の道が細く迂回路もないので災害時に公民館への避難ができない。 |
| | いま | ① | 主要道路、川を挟んで向かいに道をつくる要請を市にしているが取り扱ってくれない。 |
| | いま | ① | 川沿いの道（主要道路）の道幅が狭く緊急時（救急、火事等）に車両がすれ違えない。 |
| 農地地図情報 | 10年後 | ② | 今は少ないが5年後あたりから放棄地が多くなる |
| | 10年後 | ④ | 他家の畑はわからない。 |
| | 10年後 | ① | 若い人や、やりたい人に畑を渡したい |
| | 10年後 | ② | 自家の畑は引退後も管理していくが、このままでは放棄地が増えていくかもしれない。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | **営農の継続と発展への期待** | **企業が参入しやすいよう農地の自由化をしたい。田畑をできれば若い担い手に渡したい。**商品の買い手、売り先の確保の不安。**市が農業に施策を打つなど力を入れてほしい。農機具の購入・貸し借り・維持管理の不安。現在の農協の仕組み・機能の維持継続への不安。** |
| | 子育てに対する市の施策が必要 | **小稗は14歳以下の人口が少ない。**市は子育てに具体的な施策を打つべき。 |
| | **高齢化による移動手段への不安** | **巡回できる道路の整備を防災対策として行うべき。高齢者（免許返納者）の移動が難しい。主要道路が1つしかないのでバイパスの整備を行うべき。** |
| | **災害・緊急時の現状課題** | **主要道路が狭いので緊急車両とすれ違えない。**別居家族の連絡先がわからない。**AEDがない。** |
| | 他自治会の関係人口を知った | 自治会によってたまに返ってくる人や別荘が多い地域があることを知った。 |
| 10年後の私の暮らしで気になる | 小稗は元気にやれそう | 小稗は10年後も元気でやれそう。 |
| | **高齢化による孤立することが心配** | **独居高齢者の増加への不安。緑色シールがどの自治会も増加している。運転免許返納者が増加することによる孤立。** |

| | | |
|---|---|---|
| で気になること | **営農を継続できるような施策や仕組みを期待** | **企業が参入しやすいよう農地の自由化をしたい。田畑をできれば若い担い手に渡したい。**商品の買い手、売り先の確保の不安。**市が農業に施策を打つなど力を入れてほしい。農機具の購入・貸し借り・維持管理の不安。現在の農協の仕組み・機能の維持継続への不安。** |
| 10年後の自治会で気になること | **後継者不足によって自治会の役が難しくなる** | **小稗だけではなく神楽地域の前自治会で人口が少ない。お寺とお宮の維持管理への不安。高齢者はお宮に登れなくなる。草刈り日役への不安。全てのことを役員で担えるのか。** |
| 新たに気づいたことの要点 | 現状助け合いができているが10年後以降は不安 | 元気な高齢者が多いので10年後は大丈夫そうだがその後は不明。農機具の維持管理、農協の機能維持が心配。後継者不足による草刈りなどの日役への不安。お宮お寺の維持管理が大変。高齢者はお宮に登れない。独居老人の増加、別個家族へなどの緊急連絡先がわからない。小稗は協力的な人が多いので助け合いができている。移動販売があると良い。 |
| これからの必要なことの要点 | 交通整備と若者の出会いの場、みんなで協力することが必要 | 災害時の迂回路、緊急車両が通行できる道路が必要。バイパスの整備。婚活など若者の出会いの場が必要。役員が同じ人ばかりになるのでみんなで協力することが必要。 |

**神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ**

| 自治会名 | 文室 | ファシリテーター名：遠藤 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ① | 神社2つが山の上にあるが、山道はヒルが多く、お祭りの際にものを下ろしてきたり、掃除したりするのが大変 |
| | いま | ① | 市営住宅に引っ越してきた方の情報がわからない。市に聞いても個人情報だということで教えてもらえないため、区にかかわってもらえない。<br>（市営住宅にはIターンの移住者が多く、初期に移住された方たちはほとんどが高齢） |
| | いま | ③ | 時々、帰ってきて息子が農業をしている家がある。 |
| | いま | ③ | 最近、孫などが帰ってきて若者が増えた家がある。 |
| | いま | ④ | 時々、外から訪問・滞在される別荘が3箇所ある。1箇所はその家の娘婿が利用する。あとの2箇所は地域とは縁のない方が来ており、1箇所は2週間に1回ほどの頻度で来ている。もう1箇所は建物の管理はその建物の少し下の家が管理している。 |
| | 10年後 | ③ | 大家族の家の一部のものが、空いている建物に住んで活用する。 |
| | 10年後 | ③ | 来年4月から引っ越してくる家があり、空き家に入る。 |
| 農地地図情報 | いま | ④ | 営農はしていないが、太陽光パネルを置いて発電している農地がある。 |
| | 10年後 | ② | 「営農している」ことにしたが、その家の息子がするかどうかはわからない。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 意外に農地が減少しないという予測が多い | ・アンケートでは困りごとでは田んぼや畑の維持管理について多く挙げられていたが、他自治会の農地の地図を見て、思っていたより営農される農地が減らないという予想が多かった。<br>・本当に農地はこんなに残るだろうかと思う。 |
| | 農地の規模縮小も仕方がない | ・田畑や営農は規模縮小せざるをえない状況になるのではないか。 |
| | 小さい子どもが減る | ・当たり前だが、10年後には、0～14歳までの子どもが地域からほとんどいなくなってしまう。 |
| | 役や活動のあり方、やり方を見直していけると良い | |
| | 若者の流出をどう阻止できるか考えたい | |
| | 会議のあり方を見直す必要があるのでは | ・土日の休みに会議をするのは大変。 |

| | | |
|---|---|---|
| | 高齢化によって自治会活動はしづらくなる | |
| 10年後の私の暮らしで気になること | **自分が個人主義になってしまうのではないか** | **・自治会活動が大事なことはわかっているが、高齢になり、色んなことが面倒になってくる。自分が個人主義になってしまうのではないかと思う。そうなるのは怖いのだが。** |
| | 定年後の暮らしのビジョンがない | ・もうすぐ定年するが、どう暮せばよいか考えられておらず、心配。 |
| | 趣味が続けられるか心配 | ・現在、木工等の趣味があるが、10年後もこの趣味が続けられるか心配。 |
| | 10年後の子どもの暮らしが心配 | ・10年後、子どもが家にいると思うが、地区で暮らすためにしないといけないことがたくさんあると思い、心配している。なぜ息子が帰ってきたのか不思議。<br>・自分たちの墓はいらないという話をしている。 |
| | 親の介護 | ・親が住む実家は近くではあるが、介護をどうしたらよいのか悩ましい。 |
| | 自分の家をどうするか | ・先の話だが、自分の家をどうするかは気になる。子どもに任せる。 |
| | 先に亡くなった時のこと | ・病気になったときや先に亡くなってしまったら、妻などに家のことや墓のことをどうにかしてもらわなければいけないことが気になる。 |
| | いつまで働かなければいけないか | ・自分が社長なので定年がない。いつまで働かなければいけないかが心配。65歳でやめたいが、そうもいかない。 |
| | 趣味がない | ・趣味がないため、仕事を終えた後、何をして暮らすか考えられていない。 |
| | 実家の土地 | ・実家の土地をどうすればよいか気になる。 |
| | 自分の田畑の管理 | ・誰に自分の田畑を管理してもらえるか気になる。誰にも管理してもらえないのではないか。 |
| 10年後の自治会で気になること | 自治会がなくなる可能性 | ・自治会はなくなっているのではないか。<br>・都会で暮らし、地元に戻ってきたという区民が他の地区と比べて非常に多く、都会的な考え方の人が多いため、自治会のような活動はこの地区では残らないのではないか。 |
| 新たに気づいたことの要点 | 将来の農地が意外と営農・管理されている | |
| これからの必要なことの要点 | 活動の仕方を見直していかなければいけない | |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 惣持 | ファシリテーター名：岡（社協） |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ④ | 惣持の奥のログハウスの集落（木栄の管理か？）があり、2件は住んでいる。そのほか出入りがあるが、自治会入りはしていない。 |
| | いま | ① | 飼われている犬がうるさい。 |
| | いま | ② | 山際に住宅があるが、山崩れ防止の工事は来年から予定されている。 |
| | いま | ① | 集落の入り口付近の土地の所有者が高齢で草刈りをしてくれない。 |
| | いま | ① | 高齢独居の女性宅が老朽化し、瓦が朽ちて周辺に落ち迷惑になっている。何度かお願いはしたものの、あまり強くは言えず困っている。 |
| | 10年後 | ② | 子どもが3人以上いる世帯が何件かあり、誰か1人は惣持に残ってほしい。 |
| | 10年後 | ④ | ログハウス住民を自治会に入ってもらう。 |
| 農地地図情報 | いま | ④ | 集落の入り口付近の放棄地以外は、営農できている。今すぐの心配はとくにない。 |
| | 10年後 | ② | 惣持のほとんどの土地を現在主力の70～80代の3人で営農してもらっているが、その方たちが病気やなくなることがあれば一気に放棄地が増えたり、営農できなくなる。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 空き家の増加による犯罪や相続の不安 | 犯罪が起きないか心配。来年からは、相続の義務化がはじまるが、息子世代がついでも管理はできるだろうか。 |
| | 75歳以上がどの自治会も多い。 | 人口は3分の1になる。**役が回ってくるのがしんどい。** |
| | 人口の増える要因がない | |
| 10年後の私の暮らしで気になること | 移動手段の喪失 | 今はほとんどの人が免許保有者で、移動に困る人はいない。10年後は、90代になる人や、高齢化がすすむが運転はできるのだろうか。 |
| | 買い物ができるか | （今は）コープの移動販売車が来ている。 |
| | 積雪対策／雪かきができるか | 雪をあけてほしいことろを市は対応してくれない。今はできるが、10年後は自分も含め健康面が気になる。 |
| 10年後の自治会で気になること | 人口が少なくなることで次の役の担い手がいない | 次の役員のなり手がいない。 |

| | | |
|---|---|---|
| 新たに気づいたことの要点 | 高齢単身・高齢2人暮らしが多い | 高齢者・高齢2人暮らしが多い。地図を見て改めて感じた。<br>元気な90代の高齢者がいるが、10年後はどうだろうか。自分たちも健康面が心配。 |
| これからの必要なことの要点 | ログハウス住民（2拠点居住者）の自治会への参加 | ログハウス住民に自治会に入ってもらう。今はできているが、できなくなった時のことを考えていかないといけないが、今主力で頑張ってくれている人は健康でいてほしい。 |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 稲土A(北) | ファシリテーター名:前田、井上 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容(情報補足して記入) | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>(数字記入) | 内容　カテゴリ=①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ② | 別荘地が多く、不定期で帰ってくる人が多い。夫婦で帰ってくるところもあれば、どのような人が住んでいるかわからないところもある。 |
| | いま | ① | 週末に帰宅し、2拠点生活している。帰ってくるのは毎週末ではなく、不定期なことも多い。 |
| | 10年後 | ② | 都会に出ている子らにも、Uターンで帰ってきてくれると期待しているが、大学に進学して、都会で就職して帰ってこない可能性もある。人によるが。 |
| 農地地図情報 | いま | ④ | 農地として活用されている土地が多い。 |
| | いま | ④ | 営農組合で管理している土地がある(地図上ではピンク色の線) |
| | 10年後 | ② | 営農組合での管理を続けられているだろう。今後は営農組合で管理していかないと、放棄地になる土地が増えるのではないか。 |
| | 10年後 | ② | 今は1人で農業をしていて、10年後も続けている予定だが、いつ何があるかはわからないし若い耕作者もいないので、その時をどうすればよいかはわからない。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 農地の存続を期待できるが、営農者の健康次第 | ・意外と10年後も農地が存続している土地が多い。<br>・他者に農地を任せている場合も多いが、その人が営農できなくなった時には放棄地となってしまう可能性が高い。 |
| | 75歳以上の住民が増加し、医療面で心配 | ・10年後は75歳以上の人数が格段に増え、医療面が心配である。 |
| | 子どもがいなくなることが残念 | ・75歳以上は増えるが、子どもはいなくなってしまう。<br>・他自治会では、10年後もまだ子どもがいる。 |
| 10年後の私の暮らしで気になること | **1人暮らしの世帯ばかりで、不安が多い** | ・子どもが出ていくと1人になってしまい、通院などどうすればよいか不安である。<br>・**病気やケガの時に1人だと不安**である。<br>・**防犯面**で不安がある。 |
| | 農地や山の管理ができない | ・1人だと山や土地の境界や場所がわからない。 |
| 10年後の自治会で気になること | **役員の担い手がいなくなっている** | ・一度自治会長をすると、今後はしなくてよいというシステムが邪魔をして役員をできる人がいないので、このシステムを変えないといけない。<br>・**女性の参画**を進めていく必要がある。まず上の世代の女性が出てくれるとよいのだが・・・<br>・女性と男性では役員会などに出られる時間帯が異なると思う。どちらかに合わせるとどちらかが出にくいというようなことが起きる。 |
| 新たに気づいたことの要点 | 農地の存続 | ・10年後も意外と農地が多い。しかし、今担っている人たちができなくなってしまうと放棄地になってしまう。 |

| | | |
|---|---|---|
| これからの必要なことの要点 | 1人暮らしの方の見守り | ・1人暮らしの人が今後増えていく。不安や困りごとなども多くなってくると思うので、地域の中で見守りなどをどのようにやっていくかということを考えていく必要があると思う。 |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 稲土B(南側) | ファシリテーター名:伊木 翔 |
|---|---|---|

| | 地図に貼り付けた付箋の内容(情報補足して記入) | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>(数字記入) | 内容　カテゴリ=①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ④ | 過去の経緯から一軒だけ離れた場所に2組の住宅があり、配りものが大変等の声がある |
| | いま | ① | これまでも集落内で組の再編が必要ではないかと議論されてきたが、未だに進んでいない |
| | いま | ① | 河川や山の斜面で、大雨のたびに水位が溢れそうになる箇所が数箇所ある |
| | いま | ④ | 過去に河川が氾濫した箇所は一部かさあげ工事を実施した |
| | いま | ① | 公民館が避難場所として機能するか疑問。上記の溢れそうになる箇所の付近に位置することや、標高の高い位置ではないことが理由。 |
| | いま | ① | 集落が河川の両岸に広がっており、さらに外側は山に挟まれている。<br>よって災害時の避難ができるか不安。洪水が起こった際に橋が機能するのか。 |
| | 10年後 | ② | 鹿柵の維持ができなくなる可能性(現在は年に3回の点検・補修作業を実施している) |
| | 10年後 | ② | 草刈りができなくなる可能性(特に河川沿いの面積が広いことから少人数では負担が大きい。山の墓地周辺の私道は年に1回草刈りを実施) |
| 農地地図情報 | いま | ④ | 現在、農地に関する課題が特にない。今、営農していない数箇所も数年内に集落出身者が使用する予定と聞いている。 |
| | 10年後 | ② | 農業従事者・農地管理者の高齢化が進んでいる。10年後は元気であれば営農し続けられるが、病気や怪我によってできなくなる可能性もある。 |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 農地はほぼ営農継続 | 自分たちの集落もそうだが、どこも案外緑色の範囲が広かった。その反面「10年後はまだ元気」という気持ちの表れが実際には病気や怪我によって管理できなくなった農地が予想以上に多くなる可能性もある。 |
| | 青シールの減少に驚き | 0～14歳の減少が予想以上。全くなくなる集落もあった。<br>自分たちの集落はゼロではないが、増える傾向にないことと減少するスピードを垣間見た。 |
| | 集落維持のため変化は必要 | 人数や暮らし方が変化している以上、会議や作業等の変化は必要。今も少しずつだが改変を進めている。今後も継続して考えていきたい。 |
| | お祭りは続けたい | 小さくてもお祭りは続けたい。<br>少なくなるけどこどもがいる限りは思い出にもつなげたい |
| 10年後の私の暮らしで気になること | **健康面への不安** | **10年後も元気だとは思うが、もし病気や怪我をしたら今自分がやっていることは誰がやるのか。やる人がいない。雪かき等の問題も。** |
| | 介護への不安 | 親が高齢になり、病気になり地域外の病院に通院しないといけなくなったり、介護が必要になった時にどうするのか不安が募る。 |

| | | |
|---|---|---|
| ること | こども・若者が帰ってこない | 進学や就職で地域外に出たこどもたちが地元へ帰ってこないのではないか。<br>そうすると担い手問題に拍車がかかることが地図にシールを貼ってリアルになった。 |
| 10年後の自治会で気になること | 既存の魅力を再認識したい | 「神楽にはこんな素晴らしいところ、ものがある」というような地域の魅力を<br>再認識して、集落のこれからをポジティブに捉えられるような取り組みがしたい。 |
| | 若者や移住者が住みやすい地域に | これからの地域を担う若い人たちに来てもらい、定住してもらえるように取り組みたい。神楽は関係人口が多かったので時々来る人の定住に向けて動いては？ |
| | 4集落が1つの自治会になった複雑な歴史がハードル | 稲土はもともと4つの地区が集まってひとつの集落になったことから、まだその<br>名残がある。公民館をそれぞれが保有していたり、神社は別区分で管理していたり、統一を試みるもいつも阻まれてきた。今後も直ぐには解決しないだろう。 |
| 新たに気づいたことの要点 | 健康面への不安<br>と担い手不足 | 現在の担い手の高齢化と怪我や病気によるさらなる担い手不足が加速する。 |
| これからの必要なことの要点 | 今後の担い手づくり | 若い世代に帰ってきてもらうことや、移住される方の受け入れ等が必要。<br>小さい頃から山川で遊んだり、この地域での楽しい思い出づくりを資源にするポジティブなビジョンを掲げた取り組み等。 |

神楽のいまとこれから見える化会議　自治会ごとのグループワークまとめ

| 自治会名 | 桧倉 |
|---|---|

ファシリテーター名：一宮祐輔

| | 地図に貼り付けた付箋の内容（情報補足して記入） | | |
|---|---|---|---|
| | いまor<br>10年後 | カテゴリ<br>（数字記入） | 内容　カテゴリ＝①現課題・②将来不安・③資源魅力・④その他 |
| 住宅地図情報 | いま | ② | 2軒の畜産農家（和牛、乳牛）がある。<br>周辺農地のほとんどを牧草栽培として貸し出しているため、畜産農家の存続が農地への影響も大きい。 |
| | いま | ③ | 高源寺には、たくさんの観光客が来ており、大きな観光収入となっている。<br>自治会としても、お寺から草刈りの委託などで一部、収入に繋がっている。 |
| | 10年後 | ① | お寺の維持は、（費用的にも、労力的にも）難しそう。特に、モミジは歳が経つと色が悪くなったりするので、定期的に更新が必要。 |
| | 10年後 | ④ | （和牛畜産農家は）三田市の方が継がれるのかもしれないと言われている。そうでなければ、続けられないと思われる。 |
| | 10年後 | ④ | （乳牛畜産農家の本人としては）どこかが買ってくれたら続けていけるが（、今のままだといつまで続けられるのかわからない）。 |
| | 10年後 | ② | 牧草地は畜産農家が継続される以外、予定はない。<br>（水稲栽培をされている方も）いつまで続けられるかわからないし、広げることなんてできるわけがない。 |
| 農地地図情報 | いま | ① | （付箋は無し）<br>周辺農地のほとんどを牧草栽培として貸し出し。<br>小さな田んぼや栗畑がある程度。 |
| | 10年後 | — | — |

| | 10年後の私の暮らしと自治会で気になること | |
|---|---|---|
| 他自治会や事前アンケートを見て話し合ったこと | 少子高齢化と人口減少による集落維持、暮らしの維持の不安がある | ・75歳以上の高齢者が多くなる割に、子どもや現役世代が少ない<br>・子どもが少なく、集落の維持ができないと思う<br>・75歳以上の人もどれくらい減るのか不安<br>・どこの集落でも同じような状況で、実際の10年後はもっと厳しいと思う<br>・20-30年後は、もっと心配 |
| | 後継者不足が確実、見直しが必要 | ・自治会役員の担い手がいない<br>・役、祭、田の後継者がいない<br>・80歳以上になると役にならなくても良い定年制があるが、見直すべきか<br>・役職を減らすか、家単位で引き受けてもらっていることを個人単位で参加していく方向で検討する必要があるか |
| | 空き家・農地の管理がよりできなくなる | ・空き家が多くなる、前は空いたらすぐに入ってきていたが、今は入ってこない<br>・家の周り（草刈り）や農地の管理がキツくなってきた |
| 10年後の私の暮らしで気になること | **個人の健康を維持する必要がある** | **・自分の体がどうなっているかが心配**<br>**・健康でさえいれば、今と同じ暮らしができているはず**<br>**・昔はもっといろんなことを記憶できていた、今は新しく入ってきた人や戸主以外のフルネーム、番地などもわからない**<br>**・（記憶の）新しい薬ができれば良い** |
| | 自治会の運営を変える必要がある | ・人口は今の半分くらいになっているかもしれない<br>・役もAIにやってもらいたいくらい |
| | **女性が地域でさらに役割を担う事が必要（大変だが）** | ・独居の女性は世帯主として組長をやられたり会議に出てこられることもあったが、これからは役員も女性になってもらうことになるかもしれない<br>・（発言する）権利などがあれば責任も発生する<br>・（女性としては、責任ややらないといけないことが増えることに）恐ろしく感じる |

| | | |
|---|---|---|
| 10年後の自治会で気になること | 組・役の再編が必要 | ・現在4組あるが、2組（上・下）にしないといけなくなるかもしれない<br>・役員のなり手がいない<br>・役の数を減らすことを考えないといけない |
| | **自治会運営・共同作業の見直しが必要** | **・自治会自体が成り立たない**<br>**・川掃除の日役人数も足りない、免除されている80歳以上の方々もボランティアで来てくれてやっと成り立っている状態** |
| | お寺の管理も外にまかせていくことになる | ・お寺周辺の草刈りは、日役として実施し、お寺から委託されているので自治会の収入になっている。できなくなったら収入が減ってしまう<br>・もみじの館（お寺すぐ下の観光客向け施設）も、地域内の個人の方へ収入になればと思って依頼している<br>・便所掃除も同じ様に考えていたが、やり手がいなくて仕方なく地域外に依頼している現状 |
| 新たに気づいたことの要点 | 人口減（75歳以上も含め）と女性の出役が必要 | ・75歳以上の人がどれくらい減るのか心配<br>・女性にもいろいろなことが降り掛かってくることが予想される |
| これからの必要なことの要点 | 自治会の仕組みの見直しが必要 | ・組の再編（4→2）、役の再編（12→？、兼任）が必要になる<br>・役、日役の定年制（3役72歳、それ以外全て80歳）の見直しの可能性 |